

マックス・イオナータ & ダード・モローニ

Max Ionata & Dado Moroni Live Review

取材協力：イタリア文化会館 New Age Productions



「ブルガリ イタリアンジャズ ラウンジ」の第2弾として6月5日、マックス・イオナータ (Max Ionata) & ダード・モローニ (Dado Moroni) が出演。6月9日にはイタリア文化会館アニュッリ・ホールでもステージを披露。



マックス・イオナータ

マックス・イオナータは、伊 JAZZIT AWARD - テナー・サクソ部門で2年連続1位に輝き、現代イタリアの偉大なサクソ奏者のひとりと考えられるようになった1972年生まれの42歳。11歳で初めて音楽を始め、音楽院を卒業しながらも、ようやく2000年代にプロデビューという遅咲きの経歴ながら、短い年月で急速に批評家やリスナーを満足させるミュージシャンとして大成した。

イタリア国内でもステファノ・バッティスタ、ファブリツィオ・ボッツ、マリオ・ピオンディ、セルジョ・カンマリエーレ、レンツォ・アルボレら、数多くの有名アーティストたちと共演。その活動範囲は、イタリアを超え、オランダ、イギリス、フランス、ポーランド、スペイン、ポルトガル、アメリカ、アラブ首長国連邦、クウェート、中国、日本とインターナショナルだ。



ダード・モローニ

ダード・モローニは、1962年ジェノヴァ生まれの52歳。ヨーロッパでもアメリカでも、最もリクエストされることの多いイタリア人ピアニストのひとり。4歳で独学でピアノを始め、17歳の時に、トゥッリオ・デ・ピスコポ (Ds) とフランコ・アンプロゼッティ (Tp) の導きでデビュー。その優れた音楽の才能は、アメリカにも届くようになり、1991年、アメリカに移住。1995年にはジャパン・ツアーも敢行している。2007年、イタリアでイタリアン・ジャズ・アワードの“ベスト・ジャズ・アクト”を受賞。

2013年にはブルー・ノート・ミラノで、女性ポップ歌手のミエッタとコラボし、「Mieta incontra Dado Moroni (意:ミエッタ、ダード・モローニと出逢う)」を手掛けている。



『Two for duke』(2012)

二人がコラボした2012年のアルバム『Two for duke』を掲げたステージを、今回披露してくれたわけだが、マックス・イオナータは、テナー・サクソ1本

のみながらも甘く官能的な音色で終始ステージを湧かせた。一方、ダード・モローニはその2m近い長身の巨体にかかれ、大きなグランド・ピアノでさえも揺らして演奏してしまうというスタンド・プレイで会場を沸かせた。またステージの端には、最初からコントラバスが覆かせられており、それはダードがピアノから持ち変えるもうひとつの楽器で、観客の心を鷲掴みにした。またダードはヴォーカルも披露してくれた。



ムジカヴィータ・イタリア読者の皆様へのメッセージ：

マックス・イオナータ：ムジカヴィータ・イタリアの全ての読者の皆様方へ、マックス・イオナータよりよりご挨拶申し上げます。チャオ、また会おうね！

ダード・モローニ：ムジカヴィータ・イタリアの全ての読者の皆様方へ、スウィングの大きな抱擁を、ダード・モローニから贈ります。チャオ！

※本誌公式サイト <http://musicavitaItalia.com/web/>にて、動画メッセージ公開中。

※読者プレゼントがあります。詳細は巻末の告知ページをご覧ください。



ステージから客席に向けて